

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

事業区分 重点

<b>事業名</b>	公共交通バリアフリー化促進		
<b>所管課</b>	都市計画部 交通計画課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
<b>開始年度</b>	平成14年度		平成12年度の「交通バリアフリー法」の施行を受け、平成14年3月に「福岡市交通バリアフリー基本方針」の策定を行い、この中で特定旅客施設(1日あたりの利用者数5,000人以上)のうち、優先的に整備が必要な鉄道駅(主要交通結節点)やバス車両等の公共交通のバリアフリー化整備について方針を定めたもの。
<b>根拠法令</b>	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律		
<b>行政計画</b>	福岡市バリアフリー基本計画		

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	1-1-1	
	再		
<b>分野別目標</b>	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
<b>施策</b>	ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり		
<b>事業群</b>	ユニバーサル都市・福岡の推進		
<b>施策成果指標</b>	○バリアフリー化駅数(H28:27駅) (平均利用者3,000人以上/日) ○ノンステップバス導入台数(H28:50台)		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	高齢者や障がいのある人をはじめ、すべての公共交通利用者(鉄道、バス)
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	安全且つ円滑な公共交通の利用ができるよう、ノンステップバスの導入や1日当たり平均的な乗降客数3,000人以上の駅のエレベーター設置等に補助を行い、バリアフリー化の促進を図る

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	交通事業者が行う公共交通施設のバリアフリー化整備に対して補助金を交付 ・ノンステップバス導入促進【導入補助台数:87台】

事業費(千円)		
<b>平成28年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		40,905
歳入	特定財源	0
	一般財源	40,905
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	年度	H27
	H29	
歳出合計	79,081	35,935
歳入	特定財源	0
	一般財源	79,081

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)																																																																													
	○鉄道駅のバリアフリー化を促進する。 ○ノンステップバスの導入促進を図る。	○安全且つ利用しやすい公共交通施設を 実現	○公共交通利用者の移動円滑化が図れる。 ○高齢者等の外出機会の増加に寄与 ○公共交通利用へ転換する。	○ユニバーサルデザインの理念に基づくまちづくりを達成 ○市民の暮らしの質が向上																																																																													
	<b>活動の指標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>																																																																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">鉄道駅のバリアフリー化(駅/年度毎)</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">115万人</td> <td style="text-align: center;">H34年度</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td></td> <td style="text-align: center;">120万人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ノンステップバスの導入促進(台/年度毎)</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">79</td> <td style="text-align: center;">87</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">75</td> <td style="text-align: center;">H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">77</td> <td style="text-align: center;">87</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">97.5%</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	鉄道駅のバリアフリー化(駅/年度毎)	目標	3	0	0	H 年度	実績	3	0	115万人	H34年度	達成率	100%		120万人	ノンステップバスの導入促進(台/年度毎)	目標	79	87	75	H 年度	実績	77	87		達成率	97.5%	100%		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1日あたりの鉄道・バス利用人員</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">113万人</td> <td style="text-align: center;">114万人</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">115万人</td> <td style="text-align: center;">H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">121.5万人</td> <td></td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">120万人</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">107.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	1日あたりの鉄道・バス利用人員	目標	113万人	114万人	115万人	H34年度	実績	121.5万人		120万人	達成率	107.5%			目標				H 年度		実績						達成率			
指標の内容	年度			実績		目標																																																																											
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																												
鉄道駅のバリアフリー化(駅/年度毎)	目標	3	0	0	H 年度																																																																												
	実績	3	0		115万人	H34年度																																																																											
	達成率	100%				120万人																																																																											
ノンステップバスの導入促進(台/年度毎)	目標	79	87	75	H 年度																																																																												
	実績	77	87																																																																														
	達成率	97.5%	100%																																																																														
指標の内容	年度	実績		目標																																																																													
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																												
1日あたりの鉄道・バス利用人員	目標	113万人	114万人	115万人	H34年度																																																																												
	実績	121.5万人			120万人																																																																												
	達成率	107.5%																																																																															
	目標				H 年度																																																																												
	実績																																																																																
	達成率																																																																																

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

<b>事業名</b>	サービス付き高齢者向け住宅供給促進事業、高齢者向け優良賃貸住宅供給事業(家賃助成)、高齢者入居支援事業、居住支援検討経費		
<b>所管課</b>	住宅部	背景	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
	住宅計画課		
<b>開始年度</b>	サ高住H24, 高優賃H13, 入居支援H15		
<b>根拠法令</b>	高齢者の居住の安定確保に関する法律他		
<b>行政計画</b>	福岡市高齢者居住安定確保計画		

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	3-3-2	
	再	1-1-1	
<b>分野別目標</b>	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
<b>施策</b>	良質な住宅・住環境の形成		
<b>事業群</b>	安心して住み続けられる住宅供給の促進		

<b>施策成果指標</b>	高齢者の居住する住宅のうち一定のバリアフリー化が行われた割合(H34: 80%)
---------------	--

## 【事業概要】

対象	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	単身・夫婦のみ高齢者世帯
事業目的	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	必要に応じバリアフリー化や生活支援サービスが付加された住宅に安心して居住できるようにする。

実施内容(手段)	<b>平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス付き高齢者向け住宅の登録を促進するため、事業者に対して国の補助制度及び登録制度の周知・啓発を行うとともに、高齢者への登録住宅の情報提供を行った。</li> <li>サービス付き高齢者向け住宅の登録を希望する事業者と随時協議を行い、登録を推進するとともに、登録の更新時期を迎えた住宅の事業者に対し、更新を促した。(平成28年度 新規登録数:2件48戸, 登録更新数:12件 558戸)</li> <li>高齢者向け優良賃貸住宅の入居者へ家賃助成を行った。</li> <li>高齢者の民間賃貸住宅等への円滑な入居を支援するため、住宅情報や生活支援サービス等の情報提供を行う事業者に対し、事業費助成を行った。</li> <li>保健福祉局と連携し、緊急連絡先や保証人が確保できない高齢者の民間賃貸住宅への入居を支援する「福岡市高齢者住まい・生活支援モデル事業」について、事業の検証を行い、課題解決に向けた検討を行った。</li> </ul>

事業費(千円)			
<b>平成28年度決算額(見込額)</b>			
歳出合計	35,662		
歳入	特定財源	16,041	
	一般財源	19,621	
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>			
	年度	H27	H29
歳入	歳出合計	32,358	42,999
	特定財源	15,582	20,215
	一般財源	16,776	22,784

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ・サービス付き高齢者向け住宅の登録制度及び登録を前提とした国の補助制度について周知を図るとともに、市民への登録住宅の情報提供を行う。 ・高齢者向け優良賃貸住宅の入居者へ家賃助成を行う。 ・高齢者へ住宅物件や生活支援サービスの情報提供を行う事業者へ事業費補助を行う。	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果, どうなるのか) ・サービス付き高齢者向け住宅の登録及び高齢者のサービス付き高齢者向け住宅への入居が促進される。 ・高齢者が民間賃貸住宅等へ円滑に入居できる。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果, 対象はどうなるのか) ・高齢者が必要に応じバリアフリー化や生活支援サービスが付加された住宅に安心して居住できる。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果, 市としてどうなるのか) ・高齢者の居住の安定確保が図られ、孤立死が無くなる。																																																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">サービス付き高齢者向け住宅の年間供給戸数</td> <td>目標</td> <td>126戸</td> <td>126戸</td> <td rowspan="3">126戸</td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>78戸</td> <td>264戸</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>61.9%</td> <td>209.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績		目標		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	サービス付き高齢者向け住宅の年間供給戸数	目標	126戸	126戸	126戸	H年度	実績	78戸	264戸		達成率	61.9%	209.5%			目標				H年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">サービス付き高齢者向け住宅の年度末入居率</td> <td>目標</td> <td>80</td> <td>80</td> <td rowspan="3">80</td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>76.6</td> <td>84.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>95.8%</td> <td>105.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績		目標		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	サービス付き高齢者向け住宅の年度末入居率	目標	80	80	80	H年度	実績	76.6	84.1		達成率	95.8%	105.1%			目標				H年度		実績						達成率			
指標の内容	実績		目標																																																																																		
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																
サービス付き高齢者向け住宅の年間供給戸数	目標	126戸	126戸	126戸	H年度																																																																																
	実績	78戸	264戸																																																																																		
	達成率	61.9%	209.5%																																																																																		
	目標				H年度																																																																																
	実績																																																																																				
	達成率																																																																																				
指標の内容	実績		目標																																																																																		
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																
サービス付き高齢者向け住宅の年度末入居率	目標	80	80	80	H年度																																																																																
	実績	76.6	84.1																																																																																		
	達成率	95.8%	105.1%																																																																																		
	目標				H年度																																																																																
	実績																																																																																				
	達成率																																																																																				

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

事業区分 重点

<b>事業名</b>	七隈線沿線のまちづくり推進(橋本・戸切地区まちづくり推進調査)		
<b>所管課</b>	地域まちづくり推進部	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
	地域計画課		地下鉄3号線(七隈線)の整備を契機として、良好な市街地形成や新たな拠点の形成を図るため、地域住民等が主体となったまちづくりに対して支援・誘導を行っている。
<b>開始年度</b>	平成25年度		
<b>根拠法令</b>	土地区画整理法・都市再開発法		
<b>行政計画</b>	なし		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	4-4-1		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている			
<b>施策</b>	まちと自然が調和した福岡型のコンパクトな都市づくり			
<b>事業群</b>	計画的な市街地整備の推進			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b> 七隈線沿線地域(橋本駅周辺)
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b> 地域住民等が主体となった駅周辺地域の特性を活かしたまちづくりによる、市民生活の核となる拠点形成の実現を目指す。
<b>事業目的</b>	

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	○地域主体のまちづくり支援等
	●(仮称)橋本駅前地区土地区画整理準備組合への支援 ・事業化に向けた関係行政機関との協議調整 ・準備組合委員会開催への支援(出席): 第58回~第72回 合計15回 ・地権者全体説明会への支援(出席): 説明会2回開催 2回出席
	●(仮称)橋本駅南地区土地区画整理準備組合への支援 ・事業化に向けた関係行政機関との協議調整 ・準備組合委員会開催への支援(出席): 第11回~第19回 合計9回  [予算額: 4,270千円] (内訳) 委託費: 4,000千円, 事務費: 270千円

事業費(千円)		
<b>平成28年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	4,270
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	1,600
	<b>一般財源</b>	2,670
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H27      H29
	<b>歳出合計</b>	270      229
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0      0
	<b>一般財源</b>	270      229

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) 地域住民が行うまちづくり活動(土地区画整理事業等)について、以下のような誘導支援を行う。 ・事業化に向けた関係行政機関との協議調整 ・役員会・説明会への支援(出席) ・地権者の意向を反映した土地利用案作成の誘導支援。 ・精度の高い事業計画案の作成の支援。	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果, どうなるのか) ・まちづくり活動に対する地域住民の同意が得られ、事業実施の実現が図られる。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果, 対象はどうなるのか) ・交通結節機能の強化, 駅周辺の整備により、地下鉄利用者の利便性が向上する。 ・商業・業務施設の誘致により、生活利便性が向上し雇用創出の効果も図られる。 ・土地の有効利用が可能となる。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果, 市としてどうなるのか) ・商業・業務機能等の集積や定住人口の増加による地下鉄七隈線の乗車人員増が見込める。 ・定住人口の増加による税収(固定資産税, 都市計画税等)が見込める。 ・鉄道駅を中心としたコンパクトで良好な市街地が形成される。
	<b>活動の指標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>		
	<b>指標の内容</b>	<b>指標の内容</b>		
	<b>実績</b>	<b>実績</b>		
	<b>目標</b>	<b>目標</b>		
<b>年度</b>	<b>年度</b>			
H27年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
H28年度	H28年度	H29年度	H29年度	H32年度
H29年度	H29年度	H32年度	H32年度	H32年度
最終年度	最終年度	H 年度	H 年度	H 年度
H32年度	H32年度			
H 年度	H 年度			
H 年度	H 年度			
達成率	達成率			
達成率	達成率			

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

事業区分 重点

事業名	九州大学跡地のまちづくり(箱崎)	
所管課	跡地活用推進部	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 九州大学の移転に伴う箱崎キャンパス周辺の地域活力低下を最小限とするともに、九大統合移転事業を円滑に進めるため、計画的かつ速やかな土地利用転換を図り、良好な市街地の形成と新たな都市機能の導入を推進する。
	九大跡地計画課	
背景		
開始年度	平成3年	
根拠法令	なし	
行政計画	地域拠点、機能を充実・転換する地域(第9次福岡市基本計画)	

基本計画			
施策コード	主	4-4-1	
	再		
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
施策	まちと自然が調和した福岡型のコンパクトな都市づくり		
事業群	計画的な市街地整備の推進		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 九州大学箱崎キャンパス跡地および貝塚駅周辺
	対象をどのような状態にしたいのか 周辺地域と調和・連携した、良好な市街地の形成および新たな都市機能の導入を図る。
事業目的	

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	・九州大学と連携した土地処分に向けた検討 ①地元代表や学識者等からなる「跡地利用協議会」(計3回)や作業部会におけるまちづくりルール等に関するガイドライン策定に向けた検討 ②先進的なまちづくり「FUKUOKA Smart EAST」の検討開始
	・都市基盤の整備に向けた検討 ①幹線道路(南北・東西道路)の都市計画決定(H28.9) ②都市基盤整備の手法・主体の選定(北エリア:市施行の土地区画整理事業, 南エリア:UR都市機構による開発行為) ③都市計画道路等のUR都市機構による直接施行制度の活用(直接施行同意, 債務負担行為 H29.3月議会にて議決予定) ④環境影響評価の手続き開始
	・公共施設の立地について関係者との協議, 検討(公園および箱崎中学校の配置案の明示)

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計	76,704	
歳入	特定財源	0
	一般財源	76,704
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H27	H29
歳出合計	28,015	356,425
歳入	特定財源	0
	一般財源	28,015

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)				
	・跡地利用計画を踏まえ、地域住民や学識経験者等の関係者と必要な事項を協議する。 ・事業者のニーズを把握するため、土地利用の意向を示している事業者との意見交換を行う。	・地域住民や事業者等のニーズにあった、まちのづくりルールや運用の仕組み等を示した「ガイドライン」が取りまとめられる。 ・事業者のニーズにあった選定手法が決定され、公募では多様な事業者が進出しやすくなる。	・ガイドラインに基づき、段階的な土地利用の転換、都市基盤の整備・改善が行われる。 ・持続性を持ったまちづくりの体制の確立される。	・新たな都市機能も導入され、良好な市街地の形成が実現する。 ・周辺地域と一体となったまちの運営により、周辺地域を含めた、市民のまちづくりへの理解や満足度が向上する。				
	指標の内容	実績	目標	実績				
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度			
活動の指標	各種調査において進出意向を示した延事業者数	目標	100	100	100	目標	H年度	
		実績	90	90		達成率	90.0%	90.0%
		達成率	90.0%	90.0%		目標	H年度	
		実績				実績		
達成率			達成率					
成果の指標(KPI)	土地利用の転換が図られた面積	目標	0	0	0	目標	H年度	
		実績	0	0		達成率		
		達成率				目標	H年度	
		実績				実績		
達成率			達成率					

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

事業区分 重点

<b>事業名</b>	九州大学跡地のまちづくり(六本松)		
<b>所管課</b>	跡地活用推進部	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
	九大跡地計画課		九州大学移転に伴う跡地を活用した、地域拠点にふさわしい多様な都市機能の誘導を図る。
<b>開始年度</b>	平成3年		
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	地域拠点		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	4-4-1		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている			
<b>施策</b>	まちと自然が調和した福岡型のコンパクトな都市づくり			
<b>事業群</b>	計画的な市街地整備の推進			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	九州大学六本松キャンパス跡地
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	緑とゆとりを持った快適な都市空間の形成を図るとともに、地域拠点にふさわしい都市機能の誘導を図り、風格とにぎわいを兼ね備えたまちづくりを行う。
<b>事業目的</b>		

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>	<p>①跡地内の整備に関して、「青陵の街・六本松地区協議会」への参加等を通じて、ガイドライン等の運用、各事業者の計画・工事に関する協議・調整を行った。(H28.12検察庁工事着手, H29.3北側敷地西街区複合施設がオープン)</p> <p>②周辺交通対策に関して、国道202号及び城南線整備の推進に向けた道路管理者等との協議・調整、バス交通に関する交通事業者等との協議・調整を行った。</p> <p>③上記項目に関して、まちづくり協議会、自治協議会及び町内会連合会等に対し、まちづくりの進捗を適宜説明した。さらに、跡地内のロータリー道路の愛称決定等に係る支援を行った。</p>
		※右の事業費は、箱崎+六本松

事業費(千円)		
<b>平成28年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	76,704
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0
	<b>一般財源</b>	76,704
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H27      H29
	<b>歳出合計</b>	28,015      356,425
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0      12,600
	<b>一般財源</b>	28,015      343,825

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<p style="text-align: center;"><b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区協議会によるデザインガイドラインの運用</li> <li>・周辺の交通対策、跡地内の建築工事の円滑な実施、調整。</li> <li>・福岡市科学館一体整備に向けた関係者との協議・調整。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑とゆとりを持った快適な都市空間の形成</li> <li>・司法機関を核とした個性的なまちの形成</li> <li>・安全な周辺交通環境の実現</li> <li>・福岡市科学館や複合施設を中心とした賑わいの創出</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)</p> <p>賑わいの創出、良好な交通環境の形成により、地域拠点にふさわしい都市機能を備えた空間が創出され、まちの円滑な機能更新が進む。</p>	<p style="text-align: center;"><b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)</p> <p>地下鉄延伸と合いまって、六本松地区の拠点性が高まり、周辺地区との回遊・連携が強化されることで、市がさらに厚みを持った、魅力ある都市となり、市民の満足度も向上する。</p>																																																																																			
	<b>活動の指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">青陵の街・六本松地区協議会への参加回数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">H30年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">12</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	青陵の街・六本松地区協議会への参加回数	目標	12	12	12	H30年度	実績	12	12	12	達成率	100%	100%			目標				H年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">土地利用の転換が図られた面積(ha)(累計)</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> <td style="text-align: center;">1.8</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">2.9</td> <td style="text-align: center;">H30年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> <td style="text-align: center;">1.8</td> <td style="text-align: center;">6.5</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	土地利用の転換が図られた面積(ha)(累計)	目標	0.7	1.8	2.9	H30年度	実績	0.7	1.8	6.5	達成率	100%	100%			目標				H年度		実績						達成率				
	指標の内容	年度			実績		目標																																																																																
H27年度			H28年度	H29年度	最終年度																																																																																		
青陵の街・六本松地区協議会への参加回数	目標	12	12	12	H30年度																																																																																		
	実績	12	12		12																																																																																		
	達成率	100%	100%																																																																																				
	目標				H年度																																																																																		
	実績																																																																																						
	達成率																																																																																						
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																			
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																		
土地利用の転換が図られた面積(ha)(累計)	目標	0.7	1.8	2.9	H30年度																																																																																		
	実績	0.7	1.8		6.5																																																																																		
	達成率	100%	100%																																																																																				
	目標				H年度																																																																																		
	実績																																																																																						
	達成率																																																																																						
<b>成果の指標(KPI)</b>																																																																																							

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

事業区分 重点

<b>事業名</b>	香椎駅周辺土地区画整理事業		
<b>所管課</b>	香椎振興整備事務所	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
	計画課		天神・博多地区を中心とした都心部に依存する一極構造からの脱却を目指し、市東部の広範な生活圏域の中心となる広域拠点として整備し、多核連携型都市構造への転換を進めている。
<b>開始年度</b>	平成11年度		
<b>根拠法令</b>	土地区画整理法		
<b>行政計画</b>	第9次福岡市基本計画		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	4-4-1		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている			
<b>施策</b>	まちと自然が調和した福岡型のコンパクトな都市づくり			
<b>事業群</b>	計画的な市街地整備の推進			

**【事業概要】**

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b> 香椎駅周辺地区
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b> 東部広域拠点に位置付けている香椎駅周辺地区は、隣接する千早地区との「あれい構造」の生活文化核として、交通拠点性の強化、既存商店街の再生及び居住環境の向上を目指す。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	①仮換地指定(直営)
	②建物等移転(直営, 一部委託)
	③道路築造工事
	④中心市街地活性化対策(補助金)

事業費(千円)		
<b>平成28年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	3,794,897
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	3,115,965
	<b>一般財源</b>	678,932
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H27      H29
	<b>歳出合計</b>	4,895,977      3,118,449
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	4,211,718      2,250,680
	<b>一般財源</b>	684,259      867,769

**【ロジックモデル・指標の達成度】**

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ・事業の取組みや進捗状況などの情報を地元に提供する。(まちづくりニュース発行など) ・組織全体として情報共有を行い、連携して課題解決を図る。	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果, どうなるのか) ・計画的な建物移転が行える。 ・計画的な施設整備が行える。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果, 対象はどうなるのか) ・計画的な市街地整備が出来る。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果, 市としてどうなるのか) ・既存商店街の再生や居住環境の向上が図られ, 安心安全なまちが形成される。			
	<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
			年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		移転棟数(棟)	目標	371	361	385	H29年度
			実績	331	361		385
達成率	89.2%		100.0%				
幹線道路整備延長(m)	目標	1,403	1,324	1,673	H29年度		
	実績	1,303	1,303		1,673		
	達成率	92.9%	98.4%				
<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	
	まちの賑わい率(使用収益開始率)	目標	67.0%	78.0%	83.8%	H30年度	
		実績	52.1%	66.7%		100%	
		達成率	77.8%	85.5%			
		目標					H年度
実績							
達成率							

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

事業区分 重点

<b>事業名</b>	動物園の整備・運営	
<b>所管課</b>	みどりのまち推進部	<b>背景</b>
	動物園	
<b>開始年度</b>	平成18年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	なし	
<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>		
平成14年度、新たに動物園を造ろうとした「福岡市自然動物公園構想」の中止を受け、老朽化した現在の動物園を存続していくために再生することになった。		

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	4-4-2	
	再	5-1-2	
<b>分野別目標</b>	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
<b>施策</b>	まちと自然が調和した福岡型のコンパクトな都市づくり		
<b>事業群</b>	公園再整備の推進		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○来園者</li> <li>○地域住民</li> <li>○飼育動物</li> <li>○管理運営者</li> </ul>
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間入園者数100万人、魅力ある動物展示の工夫(息づかい、行動の特性等)、利便性の向上(ユニバーサルデザインの導入等)</li> <li>○周辺道路の渋滞対策及び公共交通利用促進</li> <li>○飼育動物の福祉(エンリッチメント)向上</li> <li>○入園者増加による収益向上</li> </ul>

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	①動物園平面駐車場の整備(H28.9完成)、エントランス複合施設(H30年秋完成予定)に着手。
	②閑散期(夏・冬)の集客企画と戦略的な情報発信を実施
	③民間企業と連携した動植物園ラッピングバス(2台)の運行。(H28.4より)
	④交通事業者とタイアップした公共交通利用促進キャンペーンの実施
	⑤甚大な震災を被った熊本市動植物園から「ウンピョウ」2頭を一時受け入れる。

事業費(千円)		
<b>平成28年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	695,278
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	454,394
	<b>一般財源</b>	240,884
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H27      H29
	<b>歳出合計</b>	491,256      1,073,800
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	250,651      845,428
	<b>一般財源</b>	240,605      228,372

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果, どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果, 対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果, 市としてどうなるのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「福岡市動植物園再生基本計画」における的確かつ計画的な設計および工事発注の進行管理。</li> <li>○現場スタッフのオリジナルアイデア投入</li> <li>○戦略的な情報発信</li> <li>○公共交通利用促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○整備スケジュールに基づく計画的な施設完成と福岡独自の魅力的な施設整備</li> <li>○メディアや市民の関心度向上</li> <li>○周辺道路の渋滞緩和や環境負荷低減, 満足度向上</li> <li>○入園者増加による収益向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○魅力的な施設の整備や関心・満足度向上</li> <li>○ストレスのない、生き生きとした動物展示</li> <li>○地域住民との良好な関係</li> <li>○計画的な管理運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人と地球にやさしい都市の構築</li> <li>○安定した入園者増加による →収益の増加 →観光政策推進に貢献</li> </ul>	
	<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>
		年度	H27年度    H28年度	H29年度    最終年度	年度
		目標	40.0      41.0	H37年度	目標
	実績	38.9      43.3	49.6	実績	
	達成率	97.3%    105.6%		達成率	
	目標			目標	
	実績			実績	
	達成率			達成率	

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

事業区分 重点

<b>事業名</b>	総合交通体系の推進		
<b>所管課</b>	都市計画部	<b>背景</b>	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 本格的な高齢社会の到来や環境問題の深刻化、不採算バス路線の廃止などの課題に対応するため、交通体系の主軸である公共交通ネットワークを強化し、マイカーに過度に頼らない社会を実現する必要がある。
	交通計画課		
<b>開始年度</b>	平成24年度		
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	なし		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	4-5-1		<b>施策成果指標</b> ○1日あたりの鉄道・バス利用人員 (H22:108万4千人 → H34:120万人) ○公共交通が便利と感じる市民の割合 (H24:77.4% → H34:現状維持)
	再			
<b>分野別目標</b>	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている			
<b>施策</b>	公共交通を主軸とした総合交通体系の構築			
<b>事業群</b>	公共交通ネットワークの充実			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b> 公共交通機関(鉄道・バス)
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b> 異なる公共交通機関(地下鉄/西鉄電車/西鉄バス/JR等)が相互に連携し、利用者にとって使いやすい公共交通ネットワークとなり、多くの市民・来訪者に利用されている状態

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b> 「福岡市総合交通戦略」に短期施策として位置付けた施策のうち、公共交通の利便性向上と利用促進の施策について検討・実施した。 ・転入者に対する公共交通情報提供のモビリティマネジメント(MM) ・大型商業施設駐車場を活用したパークアンドライド(P&R)の実施等 ・交通事業者連携による外国人旅行者を対象とした公共交通共通乗車券(FTCP)の実施等
-----------------	--

事業費(千円)		
<b>平成28年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	9,633
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0
	<b>一般財源</b>	9,633
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H27      H29
	<b>歳出合計</b>	10,437      11,630
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0              0
	<b>一般財源</b>	10,437      11,630

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) 利用者にとって使いやすい公共交通が主軸となった総合交通体系の構築に向けたロードマップを、交通事業者や道路管理者等の関係者との共働により策定する	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ①のロードマップに基づいて、関係者(交通事業者、市、道路管理者等)の連携により、PDCAサイクルで取り組みが進められる。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ②のプランを実行し、色々な公共交通機関(地下鉄/西鉄電車/西鉄バス/JR等)が相互に連携した、利用者にとって使いやすい公共交通ネットワークが形成される。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) マイカーに過度に依存しなくてもよい、公共交通を中心とした交通体系が構築された社会となっている。
	▶	▶	▶	
	▶	▶	▶	
	▶	▶	▶	

  

	指標の内容	実績		目標		
		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
<b>活動の指標</b>	パークアンドライド契約施設数	目標		5	6	H34年度
		実績		5		11
		達成率		100.0%		
		目標				H年度
		実績				
		達成率				

  

	指標の内容	実績		目標		
		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
<b>成果の指標(KPI)</b>	1日あたりの鉄道・バス利用人員	目標	113万人	114万人	115万人	H34年度
		実績	121.5万人			120万人
		達成率	107.5%			
		目標	現状維持(80%程度)	現状維持(80%程度)		現状維持(80%程度)
実績	80.1%	80.3%	現状維持(80%程度)			
達成率	100%	100%				
目標			現状維持(80%程度)			



# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

事業区分 重点

<b>事業名</b>	東部地域における鉄道計画調査		
<b>所管課</b>	都市計画部	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> ・都市交通審議会答申[昭和46年] 都心部から箱崎方面に至る路線(現地下鉄2号線)を新設し、西鉄宮地岳線(現貝塚線)との直通運転について検討が必要
	交通計画課		
<b>開始年度</b>	平成17年度		
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	なし		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	4-5-1		<b>施策成果指標</b> ○公共交通が便利と感じる市民の割合 (H24:77.4% → H34:現状維持)
	再			
<b>分野別目標</b>	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている			
<b>施策</b>	公共交通を主軸とした総合交通体系の構築			
<b>事業群</b>	公共交通ネットワークの充実			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	地下鉄2号線、西鉄貝塚線利用者及び沿線居住者等
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	貝塚駅における乗継ぎを解消し、福岡市東部地域と都心部間の交通利便性の向上が図られる
<b>事業目的</b>		

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	地下鉄と貝塚線の現況の利用実態をもとに、これまでに検討してきた直通運転スキーム案の長所・短所を整理し、最大の課題となっている費用対効果の改善を図るため新たな運行スキーム案の検討に着手。

事業費(千円)		
<b>平成28年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	5,000
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0
	<b>一般財源</b>	0
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H27      H29
	<b>歳出合計</b>	5,292      5,000
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0      0
	<b>一般財源</b>	0      0

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) 実現可能性が見込まれる運営スキームの構築にむけて、鉄道事業者と協議・調整を行う。	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ・地下鉄2号線と西鉄貝塚線が直通運転化され、利用者の乗継ぎが解消される。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) 福岡市東部地域と都心部間の交通利便性が向上し、鉄道ネットワークの形成により、東部広域拠点(香椎・千早)、アイランドシティ、都心部の連携が強化される。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) ・沿線の新しいまちづくりや商業業務機能集積により福岡型のコンパクトな都市が形成される。 ・交通混雑の緩和や環境負荷の低減など環境に優しい都市が構築される。																																																																																				
	<b>活動の指標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>																																																																																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度		目標				H 年度		実績						達成率						目標				H 年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">公共交通が便利と感じる市民の割合</td> <td>目標</td> <td>現状維持(80%程度)</td> <td>現状維持(80%程度)</td> <td>現状維持(80%程度)</td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>80.1%</td> <td>80.3%</td> <td></td> <td>現状維持(80%程度)</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	公共交通が便利と感じる市民の割合	目標	現状維持(80%程度)	現状維持(80%程度)	現状維持(80%程度)	H34年度	実績	80.1%	80.3%		現状維持(80%程度)	達成率	100%	100%			目標				H34年度	実績					達成率			
指標の内容	年度			実績		目標																																																																																		
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																			
	目標				H 年度																																																																																			
	実績																																																																																							
	達成率																																																																																							
	目標				H 年度																																																																																			
	実績																																																																																							
	達成率																																																																																							
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																				
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																			
公共交通が便利と感じる市民の割合	目標	現状維持(80%程度)	現状維持(80%程度)	現状維持(80%程度)	H34年度																																																																																			
	実績	80.1%	80.3%		現状維持(80%程度)																																																																																			
	達成率	100%	100%																																																																																					
	目標				H34年度																																																																																			
	実績																																																																																							
	達成率																																																																																							

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

事業区分 重点

<b>事業名</b>	都心3拠点を結ぶ交通アクセス強化の検討		
<b>所管課</b>	都心創生部	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 市が主要事業の一つとしてMICE誘致の推進に取り組む中で、新たな展示場の検討が行われるなどウォーターフロントエリアの重要性が高まっており、都心部(天神・渡辺通、博多駅、ウォーターフロント)の拠点間の回遊性を高め、来訪者にもわかりやすい公共交通によるアクセス強化に取り組む必要があった。
	都心交通課		
<b>開始年度</b>	平成23年度		
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	なし		

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	4-5-1	
	再	5-4-1	8-1-2
<b>分野別目標</b>	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
<b>施策</b>	公共交通を主軸とした総合交通体系の構築		
<b>事業群</b>	公共交通ネットワークの充実		
<b>施策成果指標</b>	施策4-5成果指標 ・1日あたりの鉄道・バス乗車人員 現状値(2010年)108万4千人 目標値(2022年)120万人 ・公共交通の利便さへの評価 (鉄道やバスなどの公共交通が便利と感じる市民の割合) 現状値(2012年)77.4% 目標値(2022年)現状維持(80%程度を維持)		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	都心3拠点(天神・博多駅・ウォーターフロント地区)を回遊する市民や来街者
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	国際競争力を備えた九州・アジアをつなぐ交流拠点として、本市の成長を牽引する天神・渡辺通地区、博多駅周辺地区、アジアとの玄関口であるウォーターフロント地区間の回遊性を高め、市民や来街者にもわかりやすい公共交通によるアクセス強化を図るもの。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	○「都心循環BRT」の形成に向けた連節バスによる試行運行の実施 ・H28.8～：試行運行開始(経路や乗降方法など運行上の課題等の検証・検討)(都心3拠点の循環運行はH28.10.25～)  ○福岡BRTシステム検討会議の開催 (専用走行空間のあり方及びバス路線の再編・効率化の検討) ・H28.6：第2回会議 ・H29.1：第3回会議(とりまとめ)

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	<b>歳出合計</b>	23,750
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	8,525
	<b>一般財源</b>	15,225
前年度決算額・翌年度予算額		
	<b>年度</b>	H27      H29
	<b>歳出合計</b>	22,270      20,080
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0              6
	<b>一般財源</b>	22,270      20,074

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ○交通アクセス強化における段階的な整備スケジュール(プロセス)の確定 ○関係者と協議・調整 ○適宜情報発信(市民などへのわかりやすい情報提供)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ○交通アクセス強化の段階的なプロセスが示され ○本事業の目的、プロセスを理解し、合意形成が図られている。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ○都心拠点間の公共交通によるアクセスが市民や来訪者にとってわかりやすく利用しやすいものとなる。 ○都心部の案内誘導が充実し、市民や来訪者にとってわかりやすいものとなる。 ○本事業の目的、プロセスを市民が理解している。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) ○都心拠点間の公共交通によるアクセスが市民や来街者に定着する。 ○都心部の回遊性が向上する。 ○都心部における公共交通の利用者が増え、自動車利用者が減ることにより、「道路交通混雑の緩和」や「都心拠点間の交通ネットワークの強化」が図られる。																																																																																
	➡	➡	➡																																																																																	
	<b>活動の指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度		目標				H 年度	実績					達成率						目標				H 年度	実績					達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">公共交通(バス)分担率(ウォーターフロント行・学会)(%/毎年度)【実績H23】</td> <td>目標</td> <td>30</td> <td>30</td> <td rowspan="2">30</td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>18.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>0%</td> <td>62.0%</td> <td></td> <td>30</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">交通アクセスのわかりやすさ(€/毎年度)</td> <td>目標</td> <td>現状維持(80%程度)</td> <td>現状維持(80%程度)</td> <td rowspan="2">現状維持(80%程度)</td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>80.1</td> <td>80.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>現状維持(80%程度)</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	公共交通(バス)分担率(ウォーターフロント行・学会)(%/毎年度)【実績H23】	目標	30	30	30	H34年度	実績		18.6		達成率	0%	62.0%		30	交通アクセスのわかりやすさ(€/毎年度)	目標	現状維持(80%程度)	現状維持(80%程度)	現状維持(80%程度)	H34年度	実績	80.1	80.3		達成率			
指標の内容	年度	実績			目標																																																																															
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																															
	目標				H 年度																																																																															
	実績																																																																																			
	達成率																																																																																			
	目標				H 年度																																																																															
	実績																																																																																			
	達成率																																																																																			
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																															
公共交通(バス)分担率(ウォーターフロント行・学会)(%/毎年度)【実績H23】	目標	30	30	30	H34年度																																																																															
	実績		18.6																																																																																	
	達成率	0%	62.0%		30																																																																															
交通アクセスのわかりやすさ(€/毎年度)	目標	現状維持(80%程度)	現状維持(80%程度)	現状維持(80%程度)	H34年度																																																																															
	実績	80.1	80.3																																																																																	
	達成率				現状維持(80%程度)																																																																															

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

事業区分 重点

<b>事業名</b>	都心部における交通マネジメント施策の推進		
<b>所管課</b>	都心創生部	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 都心部、特に天神地区の交通混雑悪化を契機として、交通需要の調整や交通容量の回復を図るため、「福岡市交通マネジメント施策推進協議会」において打ち出された交通施策の方向性に基づき、交通マネジメント施策を展開する必要があった。
	都心交通課		
<b>開始年度</b>	不明		
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	福岡市都市交通基本計画に位置づけ		

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	4-5-2	
	再	8-1-2	
<b>分野別目標</b>	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
<b>施策</b>	公共交通を主軸とした総合交通体系の構築		
<b>事業群</b>	交通マネジメントの推進(公共交通機関や自転車利用の促進等)		
<b>施策成果指標</b>	施策4-5成果指標 ・1日あたりの鉄道・バス乗車人員 現状値(2010年)108万4千人 目標値(2022年)120万人 ・公共交通の便利さへの評価 (鉄道やバスなどの公共交通が便利と感じる市民の割合) 現状値(2012年)77.4% 目標値(2022年)現状維持(80%程度を維持)		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	都市機能の集積や自動車交通の集中により交通混雑が慢性化している福岡都心部
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	都心部における交通混雑の緩和や交通結節機能の強化を図り、円滑な都市活動を支える快適な交通環境を創造するもの。
<b>事業目的</b>		

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>	・天神地区の交通課題解決に向けた、天神交通戦略に基づくWeLove天神協議会(WLT)との共働による短中期施策の検討及び実施 ・博多駅筑紫口駅前広場再整備に向けた関係者協議

事業費(千円)		
<b>平成28年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	618
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0
	<b>一般財源</b>	618
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H27      H29
	<b>歳出合計</b>	10,198      525
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	0      0
	<b>一般財源</b>	10,198      525

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ○公共交通利用啓発活動の実施(WLTと連携) ○交通結節機能の強化	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ○これまでの移動手段からの変容が生じる(市民の公共交通利用が増加する、市民が自動車を賢く利用するようになる) ○交通結節点における快適な空間の創出	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ○公共交通分担率が上がる ○自動車分担率が下がる ○交通結節点における乗継抵抗が低減される	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) ○都心部の交通環境が快適となる(交通混雑緩和、交通円滑化、交通結節機能強化) ○都心部が、人を中心として安全・快適に歩ける交通体系となる		
	▶	▶	▶			
	▶	▶	▶			
	▶	▶	▶			
<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	
	目標				H 年度	
	実績					
	達成率					
	目標				H 年度	
	実績					
	達成率					
<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
	1日あたりの鉄道・バス乗車人員(万人)	目標	113	114	115	H34年度
		実績	121.5	未確定		120
		達成率	107.5%			
	都心部の駅における1日当たりの乗降人員(万人)	目標	79.5	80.0	80.5	H34年度
		実績	83.2	未確定		83
		達成率	104.7%			

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

事業区分 重点

<b>事業名</b>	生活交通支援			
<b>所管課</b>	都市計画部 交通計画課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>	
<b>開始年度</b>	平成18年度		平成14年度の道路運送法の改正に伴い、バス路線の廃止が許可制から事前届出制となったことから、本市内を運行する路線バスにおいても、不採算路線の休廃止の届け出がなされ、公共交通が空白地となる地域において、生活交通(代替交通)の確保が必要となるため、財政負担による支援を行うもの。	
<b>根拠法令</b>	公共交通空白地等及び移動制約者に係る生活交通の確保に関する条例			
<b>行政計画</b>	福岡市都市交通基本計画			

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	4-5-4	
	再		
<b>分野別目標</b>	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
<b>施策</b>	公共交通を主軸とした総合交通体系の構築		
<b>事業群</b>	生活交通の確保		
<b>施策成果指標</b>	○1日あたりの鉄道・バス利用人員 (H22:108万4千人 → H34:120万人) ○公共交通が便利と感じる市民の割合 (H24:77.4% → H34:現状維持)		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	公共交通の利用について不便と感じる市民
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	生活交通は、通勤、通学、通院、買い物その他の日常生活に欠かすことのできない、市民の諸活動の基盤であり、その移動手段について、制限なく支障を来さないよう必要最低限の生活交通の確保を行う。
<b>事業目的</b>		

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	①休廃止対策 路線バスの休廃止に伴い、公共交通空白地となる地域において、代替交通の運行経費に補助を行う。 【5路線:今宿姪浜線、板屋脇山線、志賀島島内線、脇山支線、金武橋本線】 ②不便地対策 公共交通の利用が不便な地域や、それに準ずる地域において、地域主体の取組みに対する検討経費や、交通事業者が実施する試行運行の経費に補助を行う。 【1地区:東区美和台地区】

事業費(千円)		
<b>平成28年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	50,505
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	1,942
	<b>一般財源</b>	48,563
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H27      H29
	<b>歳出合計</b>	51,805      60,716
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	2,048      2,048
	<b>一般財源</b>	49,757      58,668

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>		<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)	
		○公共交通が空白地となる地域における代替交通の確保・支援 ○地域主体による生活交通確保の取り組みに対する支援	○公共交通が空白地となりうる地域における必要最低限の生活交通の確保ができる。 ○地域実情に応じた公共交通サービスの確保ができる。	○広域的な移動手段が確保できる。 ○高齢者等の外出機会の増加に寄与 ○公共交通利用者の維持	○公共交通サービスの維持 ○地域コミュニティの醸成	
	<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>
			年度	H27年度   H28年度   H29年度   最終年度	年度	H27年度   H28年度   H29年度   最終年度
	出前講座の開催回数(回/年度毎)	目標	1      1	1	H年度	
		実績	0      0			
		達成率	0%      0%			
	連絡協議会の開催回数(回/年度毎)	目標	5      5	5	H年度	
		実績	8      7			
		達成率	160%      140%			
	【5路線(1回/路線)】					
				<b>成果の指標(KPI)</b>		
	休廃止補助路線のバス利用者数(千人/年度毎)	目標	170.0      168.6	165	H年度	
		実績	163.6      152.3			
		達成率	96.2%      90.3%			
	地域における取り組みに対する支援(地区/年度毎)	目標	2      2	2	H年度	
		実績	2      2			
		達成率	100%      100%			

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

事業区分 重点

<b>事業名</b>	みどり活用推進事業		
<b>所管課</b>	みどりのまち推進部	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
	みどり推進課		これからの公園や街路樹などの整備・管理運営については、限られた財源の中で、社会状況の変化や市民の多様なニーズに的確に対応する必要がある。そこで、これまでの「創る・守る」視点だけでなく、「活かす・育てる」視点を加えみどり行政を進める。
<b>開始年度</b>	平成25年度		
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	福岡市 新・緑の基本計画		

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	4-6-1	
	再	4-4-2	
<b>分野別目標</b>	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
<b>施策</b>	ストックの活用による地区の価値や魅力の向上		
<b>事業群</b>	公共空間の利活用の推進		
<b>施策成果指標</b>	○身近な緑への満足度(身近な地域において緑が豊かになっていると感じる市民の割合) (H24:31.6%, H28:40%, H32:55%)		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	みどり資産
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	みどり経営基本方針の理念が浸透し、職員のみどり資産活用に対するマインドの向上や体制の整備、市民・地域・企業によるみどり整備・運営への参画の充実、みどり資産整備・運営経費の収支改善等が実施されている状態。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	①公園駐車場の有料化 今津運動公園の駐車場工事
	②水上公園の有効活用 H28.7月 リニューアルオープン
	③高宮南緑地への民間活力導入の検討
	④活気ある公園づくり事業の実施
	⑤コミュニティパーク事業の検討

事業費(千円)		
<b>平成28年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		56,280
歳入 特定財源		36,000
入 一般財源		20,280
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
年度	H27	H29
歳出合計	26,259	24,200
歳入 特定財源	16,000	15,000
入 一般財源	10,259	9,200

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みどり経営基本方針を基に市民との共働や収支の改善、資産の有効活用を進め、みどり資産の価値の向上を図る。当面、下記の事業を進める。</li> <li>・市民との共働:コミュニティパーク事業の推進、市民、企業との共働による花のまちづくりの推進</li> <li>・収支の改善:駐車場の有料化、使用料や占用料の見直し、街路樹再整備方針の策定</li> <li>・資産の有効活用:特別緑地保全地区における保全、活用の推進、官民連携事業(PPP)の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりの維持管理へ市民参加が促進される</li> <li>・公園ににぎわいが生まれる</li> <li>・管理コストが削減される</li> <li>・資産有効活用による歳入増又は歳出減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みどり資産の価値が高まる。</li> <li>①地域住民の生活に根ざした身近な公園→地域自ら活かし育て、憩いやコミュニティ活動、健康づくり、学びの場となっている</li> <li>②広域から多くの利用者が集う公園→質の高いサービスとともに活かされ、都市の賑わいや活力の創出につながっている</li> <li>③都市の骨格と個性ある都市景観を形成する緑→まちを彩り、風格ある街並みを形成する緑として育て、愛されている</li> <li>④地域住民に親しまれる身近な森の緑→地域の貴重な緑として自ら守り育て、共存し、愛されている</li> </ul>	<p>「生活の質の向上」と「都市の成長」の好循環を創出</p>		
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>			
	<b>活動の指標</b>	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		目標	10	10		H32年度
		実績	9	9	12	16
達成率		90%	90%		16	
<b>民間活力導入事例数(箇所)</b>	目標	1	2		H32年度	
	実績	1	2	2	4	
	達成率	100%	100%			

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>			
	<b>身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合【%】</b>	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		目標	38.8	40		H32年度
		実績	33.8	30.4	43.8	55
		達成率	87.1%	76%		
	目標				H年度	
実績						
達成率						

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

事業区分 重点

<b>事業名</b>	セントラルパーク構想推進事業		
<b>所管課</b>	住宅都市局みどりのまち推進部	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
	みどり政策課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞鶴城址将来構想策定から20年以上経過し、社会情勢が変化</li> <li>・史跡の発掘調査及び史跡内施設の移転が進展</li> <li>・上位計画での位置づけ</li> <li>・構想策定に共同で取り組むことへの県の合意</li> </ul>
<b>開始年度</b>	平成25年度		
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	福岡市 新・緑の基本計画		

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	5-2-1	
	再	8-1-1	
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
<b>施策</b>	緑と歴史・文化のにぎわい拠点づくり		
<b>事業群</b>	市民の憩いと集客の拠点づくり(大濠公園・舞鶴公園の一体的な活用等)		
<b>施策成果指標</b>	○過去3年間に福岡城跡(舞鶴公園)に行ったことがある市民の割合 (H28年度:55%, H34年度:60%)		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b> ①県民・市民 ②国内外からの来街者
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b> ①大濠公園・舞鶴公園が一体となって、日常的な憩いの場として利用されている状態 ②両公園が本市の貴重な観光資源として磨き上げられ、魅力的な観光地となり、福岡の一泊の目的地となっている状態

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「セントラルパーク基本計画」の策定に向けた検討委員会を開催。</li> <li>・「鴻臚館跡整備基本計画」の策定に向けた検討委員会を開催。</li> <li>・賑わいづくりに向けたイベントの充実。                      * 福岡城さくらまつりの拡充(16日間:過去最高の約42万人来場)                      * 新たなイベント受入れ(飲食、アウトドア体験、緑化啓発等)</li> <li>・公園の利活用促進のため、イベント利用の手引き(試行版)や回遊マップを作成。</li> <li>・市民ボランティア、造園団体、NPO福岡市民の会との共働による事業を実施。</li> <li>・市民と一体となって福岡城整備を推進する「福岡城整備基金」の寄付促進の取組みを実施                      * H29.3.31現在:寄付件数761件、寄付金額31,106,810円</li> <li>・県市連携組織である大濠・舞鶴公園連絡会議を開催。</li> <li>・回遊性向上を図るための環境整備を実施。(御鷹屋敷での園路改修等)</li> <li>・史跡としての魅力向上のための見所づくりを実施。(サクラ・ウメの活性化等)</li> <li>・史跡の保存修復の実施(多間槽(隅槽部分))</li> <li>・扇坂における発掘調査の実施</li> </ul>
-----------------	---

事業費(千円)		
<b>平成28年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	262,623
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	216,000
	<b>一般財源</b>	46,623
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H27      H29
	<b>歳出合計</b>	435,476      547,912
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	370,033      473,550
	<b>一般財源</b>	65,443      74,362

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)																																						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県市で連携して、セントラルパーク構想及び基本計画を策定する。</li> <li>・県市で組織を設置し、管理運営の連携を図る。</li> <li>・非史跡施設の城外移転を推進する。</li> <li>・史跡の復元整備や一体的な公園整備を進める。</li> <li>・既存イベントの充実や新たなイベント受入れを行う。</li> <li>・市民・企業等の参加の機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両公園の今後の整備方針が決定する。</li> <li>・両公園で一体的な管理運営が行われている。</li> <li>・非史跡施設が城内からなくなっている。</li> <li>・両公園の見所が増え、回遊性も向上する。</li> <li>・大濠公園や周辺も含めたエリアで、官民一体となり、福岡城さくらまつりが実施されている。</li> <li>・年間を通して多様なイベントが実施され、賑わいが創出される。</li> <li>・市民・企業等との共働した取組みが増加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・憩いの場としての魅力や利便性が向上し、公園利用者や公園運営に参加する県民・市民が増加する。</li> <li>・九州・西日本の魅力的な観光スポットとして、国内のみならず、海外からの来街者も増加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力的な空間となることで、周辺居住者が増加するとともに、来街者の増加で経済活動が活発化する。</li> <li>・海外からの来街者増加で、アジアの交流拠点都市として国際競争力が向上する。</li> </ul>																																						
	<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>																																						
	セントラルパーク基本計画の策定	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">50%</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td></td> <td style="text-align: center;">H29年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">40%</td> <td style="text-align: center;">60%</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">80%</td> <td style="text-align: center;">60%</td> <td></td> <td style="text-align: center;">100%</td> </tr> </table>	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	目標	50%	100%		H29年度	実績	40%	60%	100%		達成率	80%	60%		100%	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">53.6%</td> <td style="text-align: center;">55%</td> <td></td> <td style="text-align: center;">H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">57.6%</td> <td style="text-align: center;">60.5%</td> <td style="text-align: center;">55.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">107.5%</td> <td style="text-align: center;">110%</td> <td></td> <td style="text-align: center;">60%</td> </tr> </table>	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	目標	53.6%	55%		H34年度	実績	57.6%	60.5%	55.8%		達成率	107.5%	110%	
年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																						
目標	50%	100%		H29年度																																						
実績	40%	60%	100%																																							
達成率	80%	60%		100%																																						
年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																						
目標	53.6%	55%		H34年度																																						
実績	57.6%	60.5%	55.8%																																							
達成率	107.5%	110%		60%																																						

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

事業区分 重点

<b>事業名</b>	快適で高質な都心回遊空間の創出事業		
<b>所管課</b>	都心創生部	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
	都心創生課		都心部の更なる機能強化と魅力づくりを図るため、核となる天神・渡辺通、博多駅、ウオーターフロントの3地区の都市機能を高めるとともに、各地区が相互に連携し、都心部全体の活力が向上するよう、回遊性強化に取り組むもの。 ※第9次福岡市基本計画(H24.12策定)「施策5-3 情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり」
<b>開始年度</b>	平成25年度		
<b>根拠法令</b>	なし		
<b>行政計画</b>	なし		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	5-3-2		<b>施策成果指標</b>
	再	8-1-1		
<b>分野別目標</b>	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
<b>施策</b>	情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり			
<b>事業群</b>	交通利便性や都心回遊性の向上			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	都心部において働く人、住む人、訪れる人など、あらゆる人
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	・歩いて楽しく、魅力ある回遊空間の形成により、働くひと、住む人、訪れる人の心に残る美しいまちとなり、都心部の歩行者が増加する。
<b>事業目的</b>		

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都心回遊に関する庁内横断的な検討組織を設置し、事業間の調整・情報共有などを通じて、事業の全体最適化を図っている。 (事業の優先順位の整理や、関係課と連携した事業計画の立案・予算化)</li> <li>○天神ビッグバンの奥座敷(西中洲)～情緒ある路地空間の創出～西中洲地区の魅力づくりに向けた景観誘導</li> <li>○都心における街路樹などの再整備 博多～天神を繋ぐ通りの魅力づくり(はかた駅前通りの再整備 等)</li> <li>○水辺の公園再整備(水上公園、清流公園)</li> </ul>

事業費(千円)		
<b>平成28年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	141,033
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	104,765
	<b>一般財源</b>	36,268
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H27      H29
	<b>歳出合計</b>	97,099      1,000
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	83,928      0
	<b>一般財源</b>	13,171      1,000

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)
	道路、河川、公園などの回遊空間のコンセプトやデザイン、回遊スポットとなるにぎわい空間の創出について、関係局連携のもと検討・共有・整備を推進する。	都心部回遊空間の形成とあわせて、エリマネ組織等による回遊空間等での活動が活発になることで都心部に賑わいと活力を与える。	都心部の回遊空間を歩行する市民や来街者等が増加する。	都心部を回遊する市民や来街者の増加により、飲食、買い物、宿泊など様々な経済波及効果をもたらされ、市全体の活力が向上する。
	<b>活動の指標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>		

  

	指標の内容	実績		目標	
		年度	H27年度	H28年度	H29年度
<b>活動の指標</b>	エリマネ組織等と当課とのまちづくり検討に係る協議回数	目標	50	50	H年度
		実績	63	64	50
	達成率	126%	128%	50	50
	H年度	12	15	20	H年度
<b>成果の指標(KPI)</b>	都心部の1日あたりの歩行者交通量(天神地区、博多駅地区の調査地点のうち12地点の合計(平日7時～20時))	目標	10.7万人	10.7万人	H年度
		実績			
		達成率			

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

事業名	都心部の機能強化(都心部のまちづくりの推進・地下街連絡協議会経費)	
所管課	都心創生部	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
	都心創生課	
開始年度	平成20年度	背景 福岡市においても将来的には人口や税収の減少が見込まれる中、これまで以上に都市の機能強化と魅力づくりを図ることが必要。そのためには都市の成長を牽引する都心部において、計画的な機能更新によりあらゆる人の活動を支えるための都市機能に磨きをかける必要がある。
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			
施策コード	主	8-1-1	
	再	7-4-1	
分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
施策	都市の活力を牽引する都心部の機能強化		
事業群	都心部の機能強化と魅力づくり		
施策成果指標	都心部の従業者数(H29:39.2万人) 都心部の1日あたりの歩行者交通量(H29:11.1万人)		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	都心部において働く人、住む人、訪れる人など、あらゆる人
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	都心部のまちづくりを通じて、人と経済活動を呼び込み、様々な投資やサービスの提供がなされ、そこに様々な雇用が生まれることで、生活の質が更に高まっていく。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 都心部機能更新誘導方策を活用し、H25.3に「博多駅中央街地区地区計画」を変更。区域内において2件のビル(「KITTE博多ビル」「JRJP博多ビル」)がそれぞれH28.4に開業しており、さらに「(仮称)博多駅中央街ビル計画」が建設中。</li> <li>→ 国内外を問わず観光客が訪れる契機となるビッグイベントがH31以降に控えており、これらの宿泊需要を受け止める質の高いホテルをスピーディーに供給するため、「ハイクオリティホテル建設促進制度」を創設。</li> <li>○ 天神地区では、民間ビルの建替えを誘導し、ひとを中心とした「歩いて出かけたくなるまち」の実現に向け、「天神ビッグバン」を推進。</li> <li>→ 民間ビルの建替え時機を捉えた官民連携による天神明治通り地区地下通路整備への支援。</li> <li>→ 「天神ビッグバン」の動きを加速させるため、更なる容積率の緩和等を受けられる「天神ビッグバンボーナス」をH28年5月に運用開始。</li> <li>→ 旧大名小学校跡地において、H30年度の事業着手に向けて、まちづくりのコンセプトや土地利用、事業手法、地区計画の方向性をとりまとめた「旧大名小学校跡地活用プラン」をH29年3月に策定。</li> </ul>

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	558,017		
歳入	特定財源	188,000	
	一般財源	370,017	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳入	歳出合計	42,863	44,520
	特定財源	10,750	2,000
	一般財源	32,113	42,520

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	機能更新誘導方策を始めとする様々なまちづくりの制度について周知する。(ホームページやリーフレット等の作成・配布など)	周知の対象である事業者において、更新期を迎えたビルの建替え検討がなされる一環として、まちづくり検討の場ができ、当課との協議の機会が増える。	老朽化したビルがグレードの高い業務・商業ビルへと更新されることで、新たな企業が進出する受け皿が整うとともに、九州・アジア、環境、安全安心、魅力、共働といった視点でのまちづくりが推進される。	企業の進出が促進されることで、商機拡大、雇用創出などにつながるのみならず、まちの賑わいや魅力が向上し、来街者が増加する。	
活動の指標	指標の内容	実績		目標	
		年度	H27年度	H28年度	H29年度
制度PRのためのパンフレット配布や出前講座開催の件数	目標	8	8	8	H34年度
	実績	11	15		—
	達成率	137.5%	187.5%	—	—
	目標	50	50	50	H34年度
実績	63	64	—		
達成率	126.0%	128.0%	—	—	
エリアマネジメント組織等と当課とのまちづくり検討に係る協議回数	目標	50	50	50	H34年度
	実績	63	64		—
	達成率	126.0%	128.0%	—	—
	目標	50	50	50	H34年度
実績	63	64	—		
達成率	126.0%	128.0%	—	—	

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標	
		年度	H27年度	H28年度	H29年度
都心部の従業者数(万人)	目標	38.6	39	39.2	H34年度
	実績	—	—		40
	達成率	—	—	—	—
都心部の1日あたりの歩行者交通量(万人)	目標	—	—	11.1	H34年度
	実績	—	—		11.3
	達成率	—	—	—	—



# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

<b>事業名</b>	ウォーターフロント再整備の推進	
<b>所管課</b>	住宅都市局 都心創生部	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
	ウォーターフロント再整備推進課	
<b>開始年度</b>	平成25年度	<b>背景</b>
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	福岡市基本計画	

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	8-1-1		
	再	8-2-1	5-4-1	8-4-2
<b>分野別目標</b>	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている			
<b>施策</b>	都市の活力を牽引する都心部の機能強化			
<b>事業群</b>	都心部の機能強化と魅力づくり			

<b>施策成果指標</b>	○都心部の従業者数 ・中間目標値: 39万人(H28) ・目標値: 40万人(H33) 都心部の1日あたりの歩行者交通量 ・中間目標値: 110,000人(H28) ・目標値: 113,000人(H34)
---------------	---

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	ウォーターフロント地区(中央ふ頭・博多ふ頭)
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	・福岡都心部の国際競争力を強化し、九州・西日本の発展に貢献 ・MICEやクルーズなどの需要の増加に対し、都市機能の供給力の向上 ・海辺を活かした賑わいと憩いの空間形成

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	平成28年3月に策定した「WF地区再整備構想」に基づき、「クルーズ」「MICE」「賑わい」が融合した一体的なまちづくりを目指し、まちづくりの進め方や事業手法、交通対策等の検討を行った。 また、顕在化している供給力不足を早期に解消するため、第2期展示場・立体駐車場の整備に向けた取り組みや、クルーズ船の寄港の増加や大型化に対応する岸壁整備を実施した。

事業費(千円)			
<b>平成28年度決算額(見込額)</b>			
歳出合計	9,000		
歳入	特定財源	0	
	一般財源	9,000	
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>			
	年度	H27	H29
歳出合計	12,414		78,371
	特定財源	0	6
歳入	一般財源	12,414	78,365

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)																																																																																	
	まちの将来像や、民間活力を最大限に生かした事業手法、交通対策、公募条件等を検討し、事業者公募を実施	事業者のノウハウを生かしたまちづくりを実施	「クルーズ」「MICE」「賑わい」が融合した一体的なまちづくりが実現	都市の国際競争力の強化や九州・西日本の発展に貢献																																																																																	
<b>活動の指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業化の検討</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>1</td> <td rowspan="3">1</td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	事業化の検討	目標	-	1	1	H 年度	実績	-	1		達成率		100%			目標				H 年度	実績					達成率					<b>成果の指標(KPI)</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度		目標				H 年度	実績					達成率						目標				H 年度	実績					達成率				
指標の内容	年度			実績		目標																																																																															
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																
事業化の検討	目標	-	1	1	H 年度																																																																																
	実績	-	1																																																																																		
	達成率		100%																																																																																		
	目標				H 年度																																																																																
	実績																																																																																				
	達成率																																																																																				
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																	
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																
	目標				H 年度																																																																																
	実績																																																																																				
	達成率																																																																																				
	目標				H 年度																																																																																
	実績																																																																																				
	達成率																																																																																				

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

<b>事業名</b>	香椎・臨海東地区住宅市街地総合整備事業	
<b>所管課</b>	住宅部	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か アイランドシティを含む香椎・臨海東地区において、良好な住宅市街地形成を促進するため。
	住環境整備室	
<b>開始年度</b>	平成15年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	第9次福岡市基本計画	

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	8-2-1	
	再	3-3-1	
<b>分野別目標</b>	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
<b>施策</b>	高度な都市機能が集積した活力創造拠点づくり		
<b>事業群</b>	アイランドシティのまちづくり		
<b>施策成果指標</b>	施策コード「3-3-1」の指標 ○住んでいる住宅及び住環境に対する満足度 現状値：75.2%（2008年） 2013年：現状維持（80%程度を維持） 2022年：現状維持（80%程度を維持）		

## 【事業概要】

対象	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	アイランドシティ(まちづくりエリア)
事業目的	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	良質な共同住宅供給を促進することで、快適な居住環境を創出を図り、美しい市街地景観が形成された、先進的モデル都市を目指す。

実施内容(手段)	<b>平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	共同施設整備等補助
	・継続事業2件[分譲270戸]
	・新規事業2件[分譲498戸]

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	556,012		
歳入	特定財源	277,371	
	一般財源	278,641	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳入	歳出合計	849,526	640,541
	特定財源	424,320	319,636
	一般財源	425,206	320,905

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) 民間事業者が行う共同住宅整備に係る費用の一部に対して補助金を交付する。		<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果, どうなるのか) 良質な共同住宅供給の促進				<b>③中間アウトカム</b> (その結果, 対象はどうなるのか) 快適な居住環境が創出され, 美しい市街地景観が形成される。				<b>④最終アウトカム</b> (その結果, 市としてどうなるのか) 住環境に対する満足度の向上			
	活動の指標	指標の内容	年度	実績		目標		成果の指標(KPI)	指標の内容	年度	実績		目標	
			H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	H27年度			H28年度	H29年度	最終年度		
			目標	2,583	2,661	2,853	H36年度						H 年度	
			実績	2,583	2,661		6,299							
			達成率	100%	100%									
			目標				H 年度						H 年度	
	実績													
	達成率													

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

事業区分 重点

事業名	九州大学学術研究都市構想の推進	
所管課	地域まちづくり推進部	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
	九大学研都市推進課	
開始年度	平成13年度	背景 九州大学の福岡市西区の元岡・桑原地区及び糸島市への移転を契機とし、九州大学を核とした新しい学術研究都市の形成を図るもの
根拠法令	なし	
行政計画	九州大学学術研究都市構想(H13) ※産学官連携で策定	

基本計画			
施策コード	主	8-2-2	
	再	7-6-1	
分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
施策	高度な都市機能が集積した活力創造拠点づくり		
事業群	九州大学学術研究都市構想の推進		
施策成果指標	アイランドシティ・九州大学学術研究都市・シーサイドももち(SRP地区)の従業者数(H21:13,127人→H28:21,200人) ※うち九大学研都市分(H21:6,132人→H28:7,100人)		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	九州大学伊都キャンパス周辺の地域
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	研究機関や商業施設の集積などまちづくりが進展し、九州大学伊都キャンパスを核とした学術研究都市が形成される。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	九州大学学術研究都市推進機構(以下、OPACK)への補助
	<p>&lt;OPACKの事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術研究に関する広報活動事業</li> <li>・産学官の共同研究による研究開発及びその支援に関する事業</li> <li>・研究機関等の立地支援事業</li> <li>・産学連携交流支援事業</li> </ul>

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	17,395		
歳入	特定財源	0	
	一般財源	17,395	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計	17,248		17,530
	特定財源	0	0
歳入	一般財源	17,248	17,530

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<p>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</p> <p>OPACKへの補助金交付および九州大学学術研究都市構想の推進に関する連携 OPACKによる事業推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術研究に関する広報活動</li> <li>・産学官の共同研究による研究開発及びその支援</li> <li>・研究機関等の立地支援</li> <li>・産学連携交流支援</li> </ul>	<p>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</p> <p>・地域への関心が高まり、産学官の共同研究や産学連携などが進む。</p>	<p>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</p> <p>・地域に研究機関や商業施設が立地し、まちづくりが進展する。</p>	<p>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</p> <p>・九大伊都キャンパス及びその周辺が、九州大学学術研究都市の核として、学生や研究者などが、新たな知を創造し、発信する、研究開発拠点として形成される。</p>																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">学研都市への視察件数</td> <td>目標</td> <td>20</td> <td>20</td> <td rowspan="3">24</td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>20</td> <td>24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100%</td> <td>120%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	学研都市への視察件数	目標	20	20	24	H年度	実績	20	24		達成率	100%	120%			目標				H年度	実績					達成率					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">九大伊都キャンパス周辺における従業者数</td> <td>目標</td> <td>H26:6830</td> <td>7,100</td> <td rowspan="3">7,180</td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>H26:5868</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>85.9%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	九大伊都キャンパス周辺における従業者数	目標	H26:6830	7,100	7,180	H34年度	実績	H26:5868			達成率	85.9%				目標				H年度	実績					達成率			
指標の内容	年度			実績		目標																																																																											
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																												
学研都市への視察件数	目標	20	20	24	H年度																																																																												
	実績	20	24																																																																														
	達成率	100%	120%																																																																														
	目標				H年度																																																																												
	実績																																																																																
	達成率																																																																																
指標の内容	年度	実績		目標																																																																													
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																												
九大伊都キャンパス周辺における従業者数	目標	H26:6830	7,100	7,180	H34年度																																																																												
	実績	H26:5868																																																																															
	達成率	85.9%																																																																															
	目標				H年度																																																																												
	実績																																																																																
	達成率																																																																																

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

住宅都市局

<b>事業名</b>	移転に伴う西部地域のまちづくり	
<b>所管課</b>	地域まちづくり推進部	<b>背景</b>
	九大学研都市推進課	
<b>開始年度</b>	平成5年度	
<b>根拠法令</b>	なし	
<b>行政計画</b>	九州大学学術研究都市構想(H13)※産学官連携で策定	
<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>		
九州大学の西区元岡・桑原地区及び糸島市への移転を契機とし、九州大学を核とした新しい学術研究都市の形成を図るもの		

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	8-2-2	
	再	7-6-1	
<b>分野別目標</b>	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
<b>施策</b>	高度な都市機能が集積した活力創造拠点づくり		
<b>事業群</b>	九州大学学術研究都市構想の推進		
<b>施策成果指標</b>	アイランドシティ・九州大学学術研究都市・シーサイドももち(SRP地区)の従業者数(H21:13,127人→H28:21,200人) ※うち九大学研都市分(H21:6,132人→H28:7,100人)		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	九州大学伊都キャンパス周辺
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	・地域の学生住宅や研究開発機能が集積し、交通利便性が高まるなど、西部地域のまちづくりが進む。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	①大学直近(元岡・桑原周辺)の地元主体のまちづくり支援・調整 ②九大学研都市駅から伊都キャンパスまでの交通アクセス検討等 ③九大伊都キャンパス周辺インフラ整備(学園通り線、福岡・志摩線等)に係る調整

事業費(千円)			
<b>平成28年度決算額(見込額)</b>			
歳出合計		3,005	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	3,005	
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>			
	年度	H27	H29
歳出合計		5,169	1,200
	特定財源	700	0
歳入	一般財源	4,469	1,200

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)
	・元岡、桑原地区の地元主体のまちづくり活動を支援する。 ・九大学研都市駅から伊都キャンパスまでの交通アクセス強化の検討を、交通事業者など関係者で行い、方向性を定める。 ・九大伊都キャンパス周辺のインフラ整備に係る調整を行う。	・地元主体のまちづくり活動により九大移転に応じた住宅供給が行われる。 ・九大学研都市駅から伊都キャンパスまでの交通アクセスが強化され、地域の利便性が高まる。 ・九大伊都キャンパス周辺のインフラ整備が促進される。	・地域の学生住宅や研究開発機能が集積し、交通利便性が高まるなど、西部地域のまちづくりが進み、人口が増加する。	・九大伊都キャンパス及びその周辺が、九州大学学術研究都市の核として、必要な居住・生活サポート機能や研究開発機能、産学連携機能が集積した拠点として形成される。
	<b>活動の指標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>
	元岡土地区画整理地内のまちづくり進捗率(地区内における学生住宅などの立地)	年度 H27年度 H28年度 H29年度 最終年度	年度 H27年度 H28年度 H29年度 最終年度	年度 H27年度 H28年度 H29年度 最終年度
	目標 H 年度	53% 55%	58	975 1,170
実績	50% 56%		912 1,142	
達成率	94.3% 102%		93.5% 97.6%	
目標 H 年度				
実績				
達成率				
<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>
元岡土地区画整理地内の人口	年度 H27年度 H28年度 H29年度 最終年度	年度 H27年度 H28年度 H29年度 最終年度	年度 H27年度 H28年度 H29年度 最終年度	年度 H27年度 H28年度 H29年度 最終年度
目標 H 年度				
実績				
達成率				